

みしま

訓練が最大の 自主防災

消防ポンプ操法
大会に向けて每晚練習中

7月29日に両沼大会

出場選手

自動車ポンプの部／宮下班▷指揮者＝板橋洋平さん、一番員＝諏訪義徳さん、二番員＝五十嵐淳さん、三番員＝栗城拓郎さん、四番員＝布川孝宏さん、補欠＝湯田剛さん、補助員＝宗形和哉さん

小型ポンプの部／大石田班・名入班（合同）▷指揮者＝秦一夫さん、一番員＝二瓶健嗣さん、二番員＝五十嵐優さん、三番員＝小柴和浩さん、補欠＝秦勇さん

2012

7

July

広報みしま No. 232



志津倉山の開拓と振興に尽力した先駆者、故志田正美氏をしのぶ石碑

志津倉山は登るたびに、その大自然に魅了される山です。ブナの原生林が広がり、長い年月を重ねた巨木を間近に見ることが出来ます。また沢沿いに進む険しい道や、くさりをつかんでよじ登る岩場など、変化に富んだ急峻なコースが登山者の冒険心をかきたてます。

古くから恐れあがめられてきた霊峰であり、登りルートで見られる巨大スラブは「雨乞岩」と呼ばれ、日照りが続いたときに人々が祈った場所と伝えられています。

登山道は昭和40年代、三島スキークラブなどの有志によって開拓されました。開拓の先駆者、故志田正美氏をしのぶ石碑が登山口に立てられています。

そして志津倉山といえば「かしゃ猫」の伝説です。その昔、かしゃ猫は志津倉山に住み、雨を百日降らせ、日照りを百日続け、病を流行らせ、若い骸を食い、人々を困らせていました。これを聞いた弘法大師は、コシアブラの木でかしゃ猫を退治しました。かしゃ猫は罪の償いとして、災いを除き、難病も治す志津倉山の主になったと伝えられています。

事故の教訓

歩行時間は登り下り合わせて約4時間。初心者でも挑戦しやすい山ですが、雄大な自然は一瞬の油断で牙をむきます。1996年11月3日、英語指導助手として当町に滞在し、町民と親睦を深めていたジェフリー・ゲッツさんが滑落事故で亡くなりました。登山口にはその死を惜しむ石碑があり、「このすばらしい山、この楽園！」と刻まれ、志津倉山の自然を愛した彼の想いを伝えています。

また2007年11月3日にも、仙台市から訪れた女性も、

山開きは町観光協会と志津倉山の会の主催で、例年6月第1日曜日に行われます。山開き前には、志津倉山の会と地元間方地区などの協力により登山道が整備されます。

今年6月3日に開き、県内外から約130人が訪れました。登山口で開会式が行われ、町観光協会の海老名健会長、間方地区の久保田孝雄区長があいさつしました。また志津倉山の会の佐久間宗一会長が登山上の注意を述べました。全員で安全祈願を行い、「志津倉の鐘」を鳴らして登山をスタート。ブナの森を抜け、雨乞岩分岐点から大沢

コース、シャクナゲ坂と進み、1234mの山頂を目指しました。山頂では恒例の抽選会を行い、「かしゃ猫」が描かれたTシャツを30人に贈りました。昼過ぎから雨になり、特に注意しながらの下山となりました。滑落事故が起きている岩場の危険箇所では、志津倉山の会メンバーがロープを張り、下りてくる登山者を誘導しました。終盤にはブナ、栃、沢グルミの三大巨木が立つポイントもあり、最後まで飽きることはないトレッキングが続きます。下山後は山菜汁が無料で振る舞われ、山の恵みをたっぷり味わいました。

奥会津の名山を巡る旅

奥会津には、東北最高峰の燧ヶ岳(2356m)をはじめ、山頂に湿原が広がる田代山(1971m)、会津のmatterホルン蒲生岳(828m)など、人々を魅了する数多くの名山があります。また地元の温泉と山里の味が、登山の疲れを癒やしてくれます。そしてきつと、旅を通じた素敵な出会いがあることでしょう。



奥会津7町村こだわりガイドブック Vol.3

奥会津 山旅

山岳ライター柏澄子さんが案内する「出逢いとふれあいの山紀行」のほか、28の奥会津名山を詳しく紹介する保存版

※ご希望の方は下記へお問い合わせください。

☎ 奥会津振興センター ☎ 0241 (48) 5525

志津倉山	
●山頂標高	1,234 m (二等三角点)
●歩行時間	約4時間
●単純標高差	524 m
●山開き	6月第1日曜日
●登山口	三島町大字間方 (昭和村へ向かう林道沿い)
☎ 三島町観光協会	☎ 0241 (48) 5000

魅力と歴史



①登山道に入るとすぐにブナの森が広がる。目前に現れる巨木は、自然への畏敬の念を感じさせる

志津倉山

ブナの巨木
大迫力のスラブ
かしゃ猫伝説
神秘に満ちた霊峰



美しい町
美しい風景
Vol.03



②沢に沿って進む登りルート。新緑の豊かな森が続く



③登山口から約20分、目の前に現れる巨大スラブ「雨乞岩」



④沢を離れ、急坂の尾根「シャクナゲ坂」へ。くさりをつかんで岩場をよじ登り、木の根に手をかけながら進む



⑤約2時間で1,234mの山頂。飯豊連峰や磐梯山を望む



⑥恒例の山頂抽選会。今年はかしゃ猫のTシャツを30人に



⑦滑落事故も起きている下山ルートの岩場。山開きでは志津倉山の会メンバーが誘導し、安全を確保する



⑧木に登ったクマのつめ跡。単独登山では特に注意が必要



⑨下山後、山菜汁が振る舞われ、登山者の疲れを癒やした



1



てわっさの里まつりでは、地元てわっさの里みやしたの会のほか、町外から13店が道路沿いに店を出した。宮下・荒屋敷地区では、屋号看板や小径の道しるべを設置するなど、来訪者が歩いて楽しめる町並み景観づくりに取り組み、地区の活性化を目指している



2



3

1_心地よいナラ林に店が並ぶ工人まつり。毎年訪れるリピーターも多い 2,3_雪国の手仕事を再生した生活工芸は、多くの人を魅了している 4_工人の皆さんから提供された工芸品のチャリティーオークションを開催。収益金は東日本大震災の義援金として県災害対策本部へ送る 5_工人の交流会。地元料理を味わいながら、ものづくり談議に花を咲かせた



4



5

「作る人」と「使う人」の交流の場として、手作りの良さ、楽しさを伝えようと開催してきた工人まつり。近年は近隣町村も含め多くの方々のご協力もあり、大きなイベン

で来場を集めました。

工人まつりと同時に、てわっさの里まつりが宮下町内で開催されたほか、会津桐炭(株)で第5回山と木の市場、宮下温泉栄光館で第7回衣・食・住にまつわるものたち展が開かれ、それぞれ魅力ある催しで来場を集めました。

てわっさの里みやした
会津桐炭(株)、栄光館で
同時にイベント開催

運動場へ誘導し、バスでの送迎を初めて実施しました。以後、町では事前に臨時駐車場を設け、シャトルバスの運行を計画。前回からは町所有バスのほか近隣のバス会社にも依頼し、今回は計10台のバスを走らせました。また役場職員と警備会社が交通整理に当たり、来場客を誘導。混雑する会場周辺の事故防止に努めました。

作る人の手と、使う人の手で、積み重ねてきた――

雨でも大盛況。来場者2万3千人

第26回ふるさと会津工人まつり

別格のまつり

悪天候でも多くの来場

屋外でのイベントは天候に左右されます。今回は天気予報通りの雨。しかし、工人まつりの集客力は、またしても私たちの想像を超えました。

町最大のイベント、第26回ふるさと会津工人まつりは6月9日・10日の二日間、生活工芸館前で開催されました。初日は一日中雨が降り続けましたが、県内外からの来場者が続々と訪れ、推計1万3千人。二日目も過去にない入り込みで推計1万人。合計2万3千人を数え、大変な混雑だった一昨年並みの来場でした。

出店募集には265店の応募があり、審査を経て154店(うち町内29店)が出店。北は北海道北見市、南は岡山県瀬戸内市から、工人たちがこだわりの品々を持って集まりました。

シャトルバスがフル回転

工人まつりの来場者数は、3年前の第23回に激増。あふれるマイカー客を急きよ町民



山菜の天ぷらや会津地鶏の焼き鳥など、地元の味もまつりを盛り上げた



トとなりました。その始まりは26年前、生活工芸館に集まった数人の工人の輪です。その想いは受け継がれ、今や全国に広がる交流の輪となりました。今後も皆さんの力を合わせ、改善すべきところは改善しながら、ほかにはないオンリーワンのまつりにしていきましょう。



ナラ林では専用のロープで木にぶら下がりながら登るツリーイングも行われ、子どもたちが楽しく体験した

町民運動場、三島中、森の校舎カタクリなどに臨時駐車場を設け、シャトルバスで会場へ送迎した。バスはてわっさの里まつりが開催された宮下町内も経由して巡回し、帰り客の多い時間帯は駐車場への直行バスも出すなど状況に応じて運行した。初日のお昼ごろが最も込み合い、会場にはバスを待つ長い行列ができた



町からのお願い

賃貸・売却・解体などの意向のある
空き家の把握にご協力ください。
隣近所や親類など、空き家所有者の方の連絡先をご存じの場合、
可能であれば意向確認にご協力ください。

空き家所有者への連絡にご協力ください

町では増加する空き家の解消に向けて、空き家の把握、活用の可能性のある物件の調査などを進めています。しかし、遠く離れている所有者の意向確認が難しく、足踏みしている状況です。実際には、賃貸や売却なども選択肢に考えている方もいるのではないかと思います。

そこで町民の皆さんにお願いしたいことがあります。隣近所や親類の方など、空き家所有者の方と連絡が取れる場合は、その方の今後の意向をお知らせ願いたいのです。その際、「集落を維持・活性化していくために、町で空き家

の解消を考えている」ことをお伝えいただきたいと思います。もちろん無理にとはいいません。また実際には「他人に使ってもらう意向はない」という方も多いと思います。何らかの活用・解消を強いるものではありませんのでご理解ください。

空き家を解消し
集落を維持・活性化

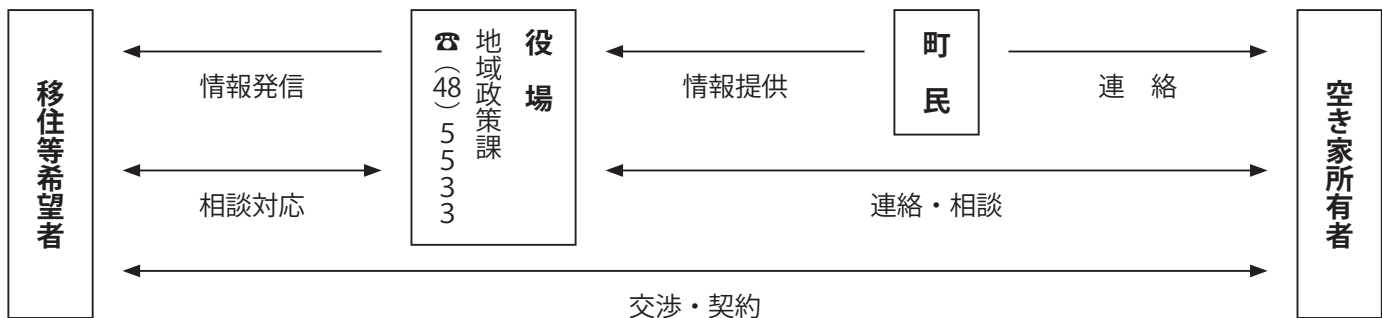
町には現在も、移住希望者などからの問い合わせがあり、実際に空き家に移住した例もあります。紹介物件を充実させ、積極的に公開することができれば、二地域居住や定住につながるケースも増えると考えています。さらに空

き家の活用に向けては、改修費などの助成制度を検討しています。

空き家が増加すると集落が衰退してしまうことは、町民の皆さんも日ごろ感じていることと思います。空き家をそのままにすれば荒廃し、集落景観も悪化していきます。空き家に明かりをとすことが、集落の活気につながると思います。移住希望者との相談においては、事前の情報共有に努め、トラブルを防ぐとともに、地域になじんでもらえる方に来ていただけるよう対応したいと考えています。町でも情報収集に努めていきますので、町民の皆さんからの積極的な情報提供をお願いいたします。

空き家所有者にまず確認したいこと

- 1 今後、空き家をどうされる意向か。
(当分そのまま・解体・賃貸・売却・自分で使用・今後考える など)
- 2 役場から連絡を取らせていただいてもよいか。
- 3 賃貸や売却などの意向がある場合について、空き家物件として情報を公開させていただいてもよいか。
- 4 その他、具体的な交渉となった場合の対応などについて



町内の空き家

(町職員による概要調査結果)

地区	軒数
宮下	23
荒屋敷	4
桑原	3
大登	7
川井	6
松原	6
滝谷	4
大谷	8
浅岐	6
間方	4
西方	18
大石田	7
名入	5
小山	3
高清水	0
滝原	2
早戸	6
計	112

意向確認済みの空き家

20 軒

活用されている空き家

10 軒

福島への移住希望の現状と県の支援施策について

農山漁村への定住・二地域居住を支援している NPO 法人ふるさと回帰支援センターによると、福島県への移住希望者数は、原発事故の前年までは3年連続で1位でした。福島県は首都圏から近く、移住や二地域居住を実現しやすい環境にあります。原発事故後は放射能の影響により、特に若い世代の問い合わせが減少していますが、その中でも「福島復興に携わりたい」と移住される方がいます。多くの方が農山村へのあこがれで西日本方面を希望するのに対し、この災害の中で福島を選ぶ方には強い関心と目的意識があり、地域参加も積極的

である傾向があるということです。同センターは東京・有楽町にあり、福島への移住・二地域居住などの相談窓口となっています。

また県では、東京でのイベント開催や、「ふくしまファンクラブ」の会員6599人への情報発信などにより福島の魅力をもっとPRしながら、定住・二地域居住を促進していきます。さらに県会津地方振興局では、ホームページに管内の空き家情報を掲載しており、新たな空き家情報も随時募集しています。

町では、所有者の意向や条件、家屋の状態などに応じて相談の上、ふるさと回帰支援センターや県と連携しながら情報公開し、空き家の解消につなげたいと考えています。

公開する空き家物件情報の例

- ▶ 所在地
- ▶ 取引形態 (例) 賃貸借契約
- ▶ 建築構造 (例) 木造2階建て
- ▶ 延床面積 m²
- ▶ 敷地面積 m²
- ▶ 築年数
- ▶ 空き家年数
- ▶ 修繕の必要
- ▶ 上下水道・電気の状態
- ▶ トイレ・台所・風呂の状態
- ▶ 駐車スペースの有無
- ▶ 農地の有無
- ▶ 周辺環境・道路の状態

県会津地方振興局「空き家・地域情報サイト」

<http://www.pref.fukushima.jp/aizu/shinko/akiya/>



空き家に関する
情報提供をお願いします。

役場 地域政策課

☎ 0241(48)5533



身近な情報をお寄せください。
◎地域政策課 美しい村づくり班 ☎ (48) 5533



表彰状を受け取る二瓶隆司町長

交通事故死者ゼロ 1,000 日達成 福島県交通対策協議会長表彰

三島町は 5 月 25 日で交通事故死者ゼロ 1,000 日を達成し、福島県交通対策協議会長表彰を受けました。会津地方振興局の石井浩局長が 5 月 29 日、表彰状を二瓶隆司町長に伝達しました。石井局長は「自分も加害者になるかもしれないと意識し、一層の努力をお願いします」と話しました。また会津坂下警察署の山口慎吾署長、五十嵐健二町議会副議長が祝辞を述べました。



町民センターで開かれた交通安全協会三島分会総会

新会長に諏訪義幸さん 交通安全協会三島分会総会

交通安全協会三島分会総会は 6 月 11 日、町民センターで開かれました。会津坂下警察署の山口慎吾署長は「今後、豪雨災害の復旧工事のため交通量が特に増えます」と注意を促し、小柴修一町議会議長は「死者ゼロを一日一日伸ばしていきましょう」と話しました。また役員が改選され、会長を長年務めた秦兵輔さん（大石田）に代わり、諏訪義幸さん（宮下）が会長に就任しました。



町老人クラブ連合会の若手委員会設置会議

老人クラブに「若手委員会」を設置 入会促進と活動充実を目指す

町老人クラブ連合会（五十嵐敏会長）の若手委員会設置会議は 6 月 14 日、福寿草で行われました。老人クラブでは会員数の減少が問題となっていますが、若手委員会は 60 代から 70 代前半の「若手高齢者」の入会と運営参画を促進し、老人クラブの活動充実を目指します。若手委員会の委員長には二瓶一男さん（西方）、副委員長には五十嵐重雄さん（大石田）が就任しました。



田植えなどで交流したツアー参加者と大谷地区の皆さん

「絶対また来るよ」のうれしい言葉 大谷地区で田舎暮らし体験ツアー

町観光協会が企画した田舎暮らし体験ツアーは 5 月 26 日から 27 日にかけて、五十嵐富一さんをはじめ大谷地区の皆さんの協力で実施されました。体験プログラムと宮下温泉ふるさと荘一泊のプランに、県内や首都圏から 11 人が参加し、田植えや山菜採り体験などを楽しみました。参加者は大谷地区の皆さんと親睦を深め、稲刈りへの再来訪を楽しみにしていました。

「桐の苗木って、根っこから育てるんだ」 三島小 4 年生 町の木「桐」について学ぶ体験授業



桐の根を切り取った分根を植える児童たち。分根から出る芽を苗木に育てる。有機肥料を与え、周辺を除草し、虫がつかないように手入れする。生育が悪い場合は、1 年で根元から切り（台切り）、しっかり根を張らせ、切り口から出た芽を一本だけ残して育てる。上から 2 ～ 3 段ほど枝を残し、それより下の芽は取り除く（芽かき）。20 ～ 25 年で伐採できる成木となる



分根から生育する苗木



雨の中で行われた西方地区の「虫送り」

雨でも元気に声を上げ、伝統受け継ぐ 西方地区の「虫送り」

伝統行事「虫送り」は 6 月 9 日、西方地区で行われました。あいにくの雨の中、参加した子どもたちは大きな声を上げ、害虫を追い払いました。行事の準備は、地区の皆さんの協力のもと、中学生が中心となって取り組みました。また本来同じ日に行う名入地区では、6 月 16 日に日程を変更して実施し、他地区の子どもたちも集まり協力し合って行事を継承しました。



各団体の代表者などが出席した町文化協会総会

生涯現役。文化の道を一步一步 町文化協会総会

町文化協会総会は 6 月 4 日、町民センターで行われ、各団体の代表者などが出席しました。中丸一雄副会長は「高齢化の中、後継者の育成が課題です。一致団結して文化振興を図っていきましょう」とあいさつしました。また北館長一教育長は「高齢化などの課題を受けとめながら、それぞれの計画に基づいて進めてください」と話しました。

会津桐タンス株式会社からの報告

会津桐タンス株式会社の定時株主総会は4月25日、町民センターで開催されました。株主総会では取締役の選任が行われ、二瓶隆司町長が代表取締役に就任したほか、3人が取締役に就任しました。また収支決算が報告され、大変厳しい経営状況が続いている現状に、出席した株主からは経営の見直しを求める意見がありました。同社では現在、再生委員会を立ち上げ、再生計画策定を進めています。

会津桐タンス株式会社 取締役

代表取締役	二 瓶 隆 司
取 締 役	小 柴 修 一
取 締 役	佐久間 源一郎
取 締 役	板 橋 充 是

保健・子育て 健康づくり

☎ 町民課 ☎ (48) 5565



schedule

● 4カ月児健診

7月10日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院

● 3歳児健診

7月18日(水) 13:00～ 柳津町 银山荘

● 足腰げんき教室

◎室内運動編

7月10日(火) 13:30～ 町民センター

8月 9日(木) 13:30～ 町民センター

◎水中運動編

7月27日(金) 13:00 町民センター集合

(西会津町民プールへ送迎)

● 機能訓練会

7月11日(水) 14:00～ 福寿草

8月 8日(水) 14:00～ 福寿草

● 心の健康相談 (※事前申し込み必要)

7月27日(金) 13:30～ 福寿草

《申込先》町民課 ☎ (48) 5565

県立宮下病院から



● 新任医師 ●

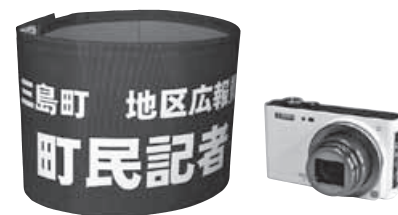
根本 大樹 先生

はじめまして。今年4月から宮下病院へ新しく赴任しました根本大樹（ねもとだいき）と申します。当院では、内科・外科を担当させていただいております。当地域の皆さまのお役に立てるよう精一杯がんばりますので、よろしくお願いいたします。

さて、そろそろ健診のシーズンです。当院は今年度から、大腸内視鏡検査を常時行なうことができる新体制となりました。スタッフ一同、「患者様にやさしい大腸内視鏡検査」を心がけていきますので、ご利用のほどよろしくお願いいたします。「痔」でお困りの方も、ぜひご相談ください。

【自己紹介】

双葉郡広野町生まれ。磐城高校、自治医科大学卒。2009年4月に医師となる。卒後2年間の初期臨床研修は県立会津総合病院で勤務。その後、県立南会津病院外科で1年間勤務。消化器内科（特に小腸・大腸・肛門疾患）を専門とし、大腸内視鏡や小腸内視鏡、カプセル小腸内視鏡が得意。



みんなの話題に ズームイン

町民記者からの寄稿です。

みんなで協力。遊歩道の刈り払い

文・写真 町民記者 五十嵐 信一さん（早戸）



刈り払い作業を行った早戸・滝原の皆さん

早戸温泉つるの湯に隣接する遊歩道で5月27日、早戸地区と滝原地区の皆さん26人が刈り払い作業を行いました。昨年7月の只見川氾濫の爪跡が残る遊歩道で、刈り払い機や草刈がまを手に、午前7時から1時間ほど汗を流しました。この作業は、早戸温泉つるの湯周辺の環境を維持するために、地区住民の方々がボランティアで数年前から行っています。

素足で手植え。今年も5年生が稲作体験

文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）



素足で水田に入り、田植えを体験した三島小5年生の児童たち

三島小5年生の稲作体験が今年も始まり、5月30日に田植えを行いました。三島神社前の町所有の水田で毎年実施されており、宮下地区の皆さんが協力しています。児童たちは素足で水田に入り、苗の手植えを体験しました。今後、収穫までの作業を通して稲作について学んでいきます。収穫した米は、収穫祭のほか同校の食育事業などに使われます。

走って笑ってリフレッシュ！ 西方で運動会

文・写真 町民記者 坂内 洋二さん（西方）



ハッスルプレー、珍プレーに歓声が上がった西方地区運動会

西方地区運動会は6月3日、森の校舎カタクリ体育館で開催されました。幼児からお年寄りまで120人を超える皆さんが参加し、紅白対抗の「宝の運搬」や個人種目の「ケツ圧測定」、10人一組の「ねらいをさだめて（輪投げ）」など9種目を繰り広げました。3年ぶりの運動会は大いに盛り上がり、閉会式では小柴直哉老人会長が「西方は永久に不滅です」と締めくくりました。



大石田地区

文・写真
町民記者 渡部 和さん（大石田）祈りの道に夢を託して
「福一満虚空蔵」周辺整備

虚空蔵堂周辺の伐採・刈り払いを行った皆さん

大石田地区で6月15日・16日、虚空蔵堂周辺の雑木伐採や刈り払いが行われました。今後、ここに虚空蔵堂へ真っすぐ上がる階段を整備する計画です。同地区では、そば・じゃがいもオーナー制による交流事業も始まっており、積極的な地区づくりが進んでいます。以前はお参りで賑わったという虚空蔵堂の光景を思い描きながら、急斜面での作業に汗を流した皆さんは「また多くの人が来てくれるといいなあ」と笑顔で話していました。



町民センター図書コーナー ゆめぼけっと

Book Review

しゅくだい

宗正美子 原案 いもとようこ 文・絵
岩崎書店

めえこせんせいがいいました。「きょうのしゅくだいは、〇〇〇〇〇〇です」。するとみんなは、いっせいに「えー、うそー、ほんとにー」とおおさわぎ。いったいどんなしゅくだいがでたのかな？

酪農家族

立松和平 著
河出書房新社

牧場では、そこにいるすべてのものが、みんな生き生きしている。自分自身の生命を輝かせている。牛と人と犬と猫、それから周りにいる野生動物、森の木々も、牧場の草も、全部生きている。



町民センター図書コーナー ゆめぼけっと

●利用時間 月～土 9:00～21:00 日・祝 9:00～17:00

●お休み 年末年始 ☎教育委員会 ☎(48) 5599



若松三島会

文・写真 長郷寅二さん（間方出身）

早戸「神々の道」を歩く
佐久間弥一さんが案内

早戸地区を訪れた若松三島会の皆さん

町出身者でつくる若松三島会は5月27日、定例行事の一環で早戸地区を訪れ、「神々の道」遊歩道を散策しました。同地区の佐久間弥一さんが案内し、点在する石仏や祠を参拝して歩きました。その後、早戸温泉つるの湯に入浴し、早戸の魅力を堪能しました。

歳時記

萌の会

工人の技の競演風薫る

諸井 まさ子

大仕事終えて初夏の陽山の影

佐藤 朋良子

風薫る米寿笑顔の同級会

志田 たつ

動かざるSLファンに走り梅雨

片山 祐一

木の芽風山ふくらませ通りけり

栗城 幸子

閉じたるをおもいあぐねし春炬燵

小平 佳子

春の蝶黄一色に酔いしれる

小柴 有美子

日食の金環映し代田澄む

小柴 盛雄

還暦を祝い、ふるさとの思い出を語り合う

寄稿トピックス

文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）

昭和42年度宮下中卒業生還暦同級会



還暦を迎えた昭和42年度宮下中卒業生の皆さん

昭和42年度宮下中卒業生の還暦同級会は6月16日、東山温泉御宿東鳳で開かれ、県内外から40人が参加しました。還暦の厄払い、記念写真撮影を行い、亡くなった2人の冥福を祈り黙とうしました。そして宮下中校歌を全員で懐かしく歌いました。続いて幹事がふるさとの近況を報告し、最遠来の長郷吉広さんが乾杯の音頭をとり祝宴を開きました。参加した皆さんは酒を酌み交わしながら2次会、3次会と盛り上がり、夜の更けるのも忘れ語り合いました。最後に2年後の東京での同級会開催を約束し、名残を惜しみながら散会しました。

民話

第16話

瓜姫

むかしむかし、あつたど。

長者の家さ、女の子がうまっちえ、大喜びだっけど。たいそうきれいだから、瓜姫とつけやっただ。

大きくなるたびに、ますます美しくなるもんだから、長者様からお嫁にくれと言われたど。したが裏山に住むアマノジャクは、瓜姫んどこ食いでえど思つて見ただ。

「よーし、瓜姫。何とか食つてやんぞ」

いよいよ式も間近になって、いっつも柿の木に登つて様子見てだアマノジャクは、みんな外さ出たすきに、家ん中さ入つて、花嫁道具全部風呂敷さ包むどしてたど。したらば瓜姫もどつてきて、

花嫁道具持つていがんにえように取り戻したそうじや。

さて祝言の日、村の人たちは、どんなにかきれいな花嫁かと思つて集まつたど。したがあのアマノジャクにかかつて、瓜姫はだかにされ、柿の木にしばらくちえ、アマノジャクは花嫁の支度して、馬さ乗り、行列は行つたど。したらば見ていた子どもたちが言つたど。

瓜姫の 乗る馬に

悪女が乗つとつたあ

瓜姫と いう人は

柿の木に 下がつてる

早く 悪女をやつつけろお

大きな声がすつから、見てみたら、花嫁着物を着たアマノジャクが乗っていたので、ヤーヤーと取り押さえて、ひでえ目にあわせたど。

瓜姫は良いお嫁さんになったどさ。

ざつとむかし、さげだ。

掲載協力者 鈴木フミ子さん（松原）

放送大学 10 月入学生募集

放送大学では平成 24 年度第 2 学期（10 月入学）の学生を募集しています。放送大学はテレビやインターネットを通して授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。心理学、福祉、経済、歴史、文学、自然科学など幅広い分野を学ぶことができます。

●15 歳以上の方なら 1 科目から学習する選科履修生・科目履修生として入学できます。

●18 歳以上の大学入学資格をお持ちの方なら学力試験はなく、全科履修生として入学でき、4 年以上在学して 124 単位以上を修得し卒業すると、学士（教養）の学位を取得できます。

●一つの分野を体系的に学びたい方には「放送大学エキスパート」を実施しています。

出願期間 8 月 31 日まで

※資料を無料で差し上げていますので、下記までご請求ください。またホームページでも受け付けています。

問 放送大学 福島学習センター
〒 963-8025 郡山市桑野 1-22-21（郡山女子大学内）
☎ 024（921）7471

原発事故損害賠償などの 無料法律相談

日本司法支援センター（法テラス）では、東日本大震災で被災された方々を対象とした新しい法律サービスを実施しています。

◆サービス内容

震災を原因とした次のような法的問題について、弁護士・司法書士などが代理人となって解決を図ったり、手続き書類を作成したりします。

●借金（二重ローン等）

●家族の問題（相続等）

●不動産の問題（土地の境界等）

●生活保護申請却下への不服申立て

●原発事故損害賠償請求

※東京電力への請求書作成や交渉

◆申込・問合せ

「震災 法テラスダイヤル」

☎ 0120-078309

戦没者遺児の現地慰霊 参加者募集

財日本遺族会では「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の参加者を募集しています。この事業は厚生労働省の補助を受け、戦没者の遺児を対象として、旧戦域を訪れ慰霊追悼を行うとともに、同地域の住民と友好親善を図ることを目的とします。

◆費用 9 万円

◆実施地域 旧満州、旧ソ連、モンゴル、西部ニューギニア、中国、マリアナ諸島、東部ニューギニア、ボルネオ・マレー半島、トラック諸島、パラオ諸島、ソロモン諸島、フィリピン、ミャンマー、台湾・バシー海峡、インド、ビスマーク諸島、マーシャル・ギルバート諸島

※日程など詳細については下記までお問い合わせください。

問 福島県遺族会事務局
☎ 024（534）5877
日本遺族会事務局
☎ 03（3261）5521

県立川口高校 魅力向上プロジェクト

川口高校は進学率、就職率ともに 100%を達成している数少ない学校ですが、昨年の入学者は定員 70 人の半数を下回り、今年も定員を下回っています。県教育委員会では、定員の半数を 3 年間下回ると分校化という方針を示しています。現在、同窓会と P T A、教職員、金山町などが協力し、同校の魅力を説明し、近隣の中学校との連携を図るなどの活動をしています。

このプロジェクトには同窓生に限らず、どなたでも参加できます。プロジェクトチームの会員として会議や講演会に参加してくださる方は、氏名、住所、電話番号をファックスまたは郵便等でお知らせくださるようお願いします。

また同窓会主催の講演会を下記のとおり開催します。入場は無料です。お誘い合わせの上で来校ください。

「ようこそ先輩」講演会
箱根駅伝のゴールテープを切った男

◆講師 越尾咲男氏

（昭和 41 年度川口高校卒）

◆内容 子ども時代からの夢を実現するには

◆日時 7 月 9 日㊦ 12：40 ～

◆場所 県立川口高校

問 県立川口高校

〒 968-0011 大沼郡金山町大字川口字蛇沢 2434-2

☎ 0241（54）2154

FAX 0241（54）2240



廃棄物処理料金審議会 委員募集

会津若松地方広域市町村圏整備組合の廃棄物処理にかかる料金について、調査・審議を行う委員を募集します。

◆任期 管理者から諮問を受けた日から答申するまでの期間

◆応募資格 次の事項をすべて満たす方 ①満 20 歳以上②構成団体内（会津若松市、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町）に住所があり現に居住している方③構成団体の議会議員、職員でない方④廃棄物処理業に関連した企業等の経営者または従業員でない方⑤成年被後見人または被保佐人でない方

◆定員 3 人（応募者多数の場合は抽選）

◆応募方法 所定の申込書に必要事項を記入の上、環境センターへ直接持参または郵送・ファックス・電子メールにより提出してください。※申込書は環境センターで配布するほか、希望者には郵送します。またホームページからも入手可能です。

◆応募締切 7 月 27 日㊦（必着）

◆報酬 会議の都度、所定の報酬を支給します。

問 会津若松地方広域市町村圏整備組合 環境センター業務係

☎ 0242（27）9004

ホームページ <http://www.aizu-kouiki.jp/>
電子メール kankyo@aizu-kouiki.jp

三島町の人口と世帯 （6月1日現在）

人口	1,924	-5	出生	0
男	916	-5	死亡	3
女	1,008	±0	転入	2
世帯	831	±0	転出	4

※住民基本台帳による数値です。

消防職員 採用試験

会津若松地方広域市町村圏整備組合では、来年度採用予定の消防職員・消防職員（救急救命士）を募集します。

◆採用職種・採用予定人員

消防職員 10 人程度

消防職員（救急救命士）若干名

◆職務内容 消防署等において、警防、予防、救急等の業務に従事します。男女とも原則として深夜業を含む交替制勤務です。

◆受験資格 高校卒業程度の学力を有し、昭和 60 年 4 月 2 日から平成 7 年 4 月 1 日までに生まれた者で、身体強健な者。救急救命士については、昭和 60 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、救急救命士法による救急救命士の免許の交付を受けている者。

◆試験申込書の請求 消防本部・消防署・分署・出張所、市町村役場で交付します。また消防本部のホームページからダウンロードすることもできます。<http://www.119-aizu.jp>

※郵送を希望する場合は、封筒に「採用試験用紙請求」と朱書きし、120 円分の切手を貼ったあて先明記の返信用封筒（A4 判大）を必ず同封して、会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部総務課（〒 965-0131 会津若松市北会津町中荒井字諏訪前 11）へ送付してください。

◆受付期間

平成 24 年 7 月 11 日㊦から

平成 24 年 8 月 10 日㊦まで

※執務時間中に限る。土曜日、日曜日、祝日を除く。郵便による提出の場合は、平成 24 年 8 月 10 日㊦の消印のあるものまで受け付けます。

◆第 1 次試験

と き 平成 24 年 9 月 16 日㊦

ところ 会津大学

問 会津若松地方広域市町村圏整備組合 消防本部総務課総務グループ

☎ 0242（59）1400

社会を 明るくする運動

7 月は強調月間です

今年で 62 年目を迎える「社会を明るくする運動」は、すべての国民が犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生についての理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

安全・安心な町づくりと、青少年の健全育成のために、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

役場 町民課

入国警備官 採用試験

◆受験資格

警備官

①平成 24 年 4 月 1 日において高校または中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して 5 年を経過していない者および平成 25 年 3 月までに高校または中等教育学校を卒業見込みの者

②人事院が上記①に準ずると認める者

昭和 47 年 4 月 2 日以降に生まれた者で上記①に定める期間を経過した者および人事院がそれに準ずると認める者

◆受付期間

インターネット 7 月 24 日～8 月 2 日

郵送または持参 7 月 30 日～8 月 7 日

第 1 次試験 9 月 30 日

第 2 次試験 10 月 30 日～11 月 1 日

合格発表 11 月 27 日

問 仙台入国管理局総務課

☎ 022（256）6076

ご寄附 ありがとうございました

町社会福祉協議会へ

ご遺志によるもの

阿 部 吉 一 様（桧原）

大 竹 昇 様（滝谷）

これからの行事予定

7月8日㊤

県民スポーツ両沼大会 8:30～ 昭和村
カンターテ・ドミノ少年合唱団（ベルギー）
チャリティーコンサート 14:00 開演 交流センター山びこ

7月22日㊤

町職員（大卒程度）採用一次試験 福島大学

7月29日㊤

消防ポンプ操法両沼大会 9:00～ 会津坂下町
出場／自動車ポンプの部▶宮下班
小型ポンプの部▶大石田班・名入班（合同）

地域ふれあいサロン

川井友愛サロン

7月10日㊤ 10:00～ 川井集会所

大石田友遊サロン

7月19日㊤ 10:00～ 大石田生活改善センター

心配ごと相談

7月12日㊤ 9:30～ 福寿草

☎町社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

放射能測定結果（抜粋）

●食品

品名	検査日	採取場所	放射性物質（ベクレル/kg）		
			ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137
米	6月8日	名入	不検出	不検出	不検出
あさつきの玉	6月5日	浅岐	不検出	不検出	不検出
わらび	6月5日	大谷	不検出	不検出	不検出
うるい	6月5日	浅岐	不検出	不検出	不検出
干しぜんまい	6月4日	間方	不検出	27	44
ふぎ	6月1日	西方	不検出	不検出	不検出
玄そば	6月6日	滝谷	不検出	不検出	不検出
キャベツ	6月7日	桧原	不検出	不検出	不検出
水菜	6月1日	西方	不検出	不検出	不検出
笹の葉	6月5日	桧原	不検出	不検出	不検出

●非食品

品名	検査日	採取場所	放射性物質（ベクレル/kg）		
			ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137
落ち葉	6月7日	滝谷	不検出	192	254
土壌	6月7日	宮下	不検出	110	127

☎役場 地域政策課 ☎ (48) 5533

放射能検査室 ☎ (52) 3511

地区ニュース



文・写真 町民記者 角田伊一さん（川井）

いわきの津波被害に絶句

川井地区の皆さんが被災地視察

川井「友愛サロン」と生きがいクラブの皆さん18人は6月13日、いわき市の津波被災地を視察しました。その悲惨な状況は報道されていましたが、復旧はどこまで進んでいるのか、この目でしっかり見てこようと実施しました。四倉の若松光さんがバスに同乗し被害状況を説明。津波で打ち上げられた大型漁船や無残に破壊されたビル、跡形もない集落の光景には一同言葉もなく、一日も早い復興を祈念しました。

道の駅よつくら港で昼食、小名浜の「ら・ら・ミュウ」などで楽しく買物し、夕飯に間に合う時間に帰宅できました。とても中味の濃い研修旅行でした。



いわき市の太平洋沿岸地域には、大震災から1年以上たった今も、打ち上げられた漁船やがれきなど大津波のつめ跡が残る。一日も早い復旧が望まれる



道の駅よつくら港で昼食をとった川井地区の皆さん。同道の駅今も、打ち上げられた漁船やがれきなど大津波のつめ跡が残る。一日も早い復旧が望まれる

花火は十分注意して！

7月から夏休みが始まり、ご家庭などで花火を楽しむ機会が増えると思います。花火は火薬を使用していますので、正しい遊び方をしないと火災や事故につながる恐れがあります。取り扱いには十分注意してください。

<5つの決まり>

- ❶ 風の強い日には花火をしない。
- ❷ 周りに燃えやすいものがない安全な場所で行う。
- ❸ 子どもだけでは遊ばない。
- ❹ 水の入ったバケツなどを用意する。
- ❺ 近所の家に迷惑にならないよう気を付ける。

※花火に使用するライターやマッチは、子どもが興味本位で使用し、火災に至るケースがありますので、喫煙される方も含めて管理には十分注意してください。

☎ 会津坂下消防署三島出張所 ☎ (52) 3032

大竹重正氏に旭日単光章

2012.5.29



大竹重正氏の叙勲を受けるご家族の大竹祐子さん

高齢者叙勲

元町議会議員の大竹重正氏が旭日単光章を受章しました。会津地方振興局の石井浩局長が5月29日、ご家族の大竹祐子さんに伝達しました。

大竹重正氏は大正13年生まれ。昭和47年に町議会議員に初当選し、通算3期12年にわたり、農業振興や道路整備の推進など、町づくりに大きく貢献しました。

チャリティーコンサート収益金を

東日本大震災義援金として寄附

ボランティア桧原

2012.5.30



町社会福祉協議会の小松順太郎事務局長に義援金を手渡すボランティア桧原の海老名健会長

ボランティア桧原は、チャリティーコンサートの収益金を東日本大震災義援金として寄附しました。団体を代表して海老名健会長が5月30日、町社会福祉協議会の小松順太郎事務局長に義援金を手渡しました。コンサートは同団体が後援して5月12日に交流センター山びこで開かれ、桧原と交流のある方々が管弦楽を演奏しました。義援金は日本赤十字社を通じて被災地に送られます。

会長に小柴正洋議員

町国民健康保険運営協議会

2012.6.4



委嘱を受ける小柴正洋町議会議員

町国民健康保険運営協議会は6月4日に会議を開き、町議会の小柴正洋議員、長谷川清雄議員が委員に委嘱されました。また小柴議員が会長に選任されました。当協議会は町長の諮問に応じて招集され、国民健康保険の運営、税率などについて審議し、町長に答申します。

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では5月中、刑法犯は発生しませんでした。

鍵かけ、声かけ、心がけ

夏場は暑さのため戸締まりがおろそかになり、空き巣が増える傾向にあります。また車のエンジンを切らずに離れ、車上ねらいに遭うケースも増えます。窃盗被害を防ぐため、身の回りの防犯チェックをお願いします。

◆住宅防犯チェック

- ① 建物の見通しが良いか。
- ② 外出時、夜間などは玄関・勝手口を施錠しているか。またセンサーライトなどの照明器具を取り付けているか。
- ③ 窓は短時間の外出でも施錠しているか。
- ④ 長時間不在にする場合、隣近所に声かけしているか。

◆自転車・オートバイ防犯チェック

- ① 二重鍵かけ
- ② 防犯登録
- ③ 鍵の抜き忘れ

◆自動車防犯チェック

- ① ドアロックの習慣
- ② 鍵の抜き忘れ
- ③ 車内の貴重品放置

街頭犯罪発生状況（1月～5月）

区 分	管 内	三島町
空き巣ねらい		
忍 び 込 み		
事務所荒らし	1	
出 店 荒 ら し	1	
自 動 車 盗		
オ ー ト バ イ 盗		
自 転 車 盗	3	
自販機ねらい		
車 上 ね ら い	1	
部 品 ね ら い		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	6	0
全 刑 法 犯	44	1

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。

奥会津アドベンチャーキャンペーン

只見川電源流域振興協議会



楽しい三つのプログラムで
奥会津の観光振興を目指す

奥会津7町村で構成する只見川電源流域振興協議会は、6月から「奥会津アドベンチャーキャンペーン」をスタートしました。原発事故の風評被害や豪雨災害からの復興を目指して実施するもので、三つの周遊プログラムで観光誘客をねらいます。

一つ目は21カ所の温泉地を巡って湯印を集める「奥会津ゆき湯湯印帳」。湯印の数に応じてオリジナル温泉アイテムを先着でプレゼントします。二つ目は各種体験・宿泊・食事、お土産購入などによりポイントを集める「奥会津とく！得！！体験」。ポイント数に応じて、奥会津ペア宿泊券や産品詰め合わせなどが抽選で当たります。三つ目は「奥会津列伝」。なぞ解きをしながらか観光スポットを巡り、正解すると各地の「伝説の戦士」を描いたクリアカードがもらえます。9地域すべてクリアすると「最強の戦士カード」

を贈呈。さらにクリアした地域の数に応じて、各種賞品が抽選で当たります。家族で楽しめる今までにないプログラムとなっています。奥会津アドベンチャーキャンペーン決起集会は6月1日、参加事業者が集まり町民センターで行われました。当協議会の鈴木庄蔵事務局長は「お客さまと接する事業者の皆様とともに、心を一つにしたおもてなしを行い、奥会津は違うなど言っていただけのように協力していきましよう」とあいさつしました。続いて山内康次主査（昭和村）が観光客への対応方法などを説明しました。またトータルコーディネーターで立教大学の清水慎一特任教授は「この試みを来年も再来年も続け、商売の仕組みとして継続できる民間団体の発足につながってほしいです。お客さまと一緒に、地元の人でも楽しく取り組んでください」と話しました。

奥会津ゆき湯湯印帳

21カ所の温泉地の湯印を集め、オリジナル温泉アイテムを先着でプレゼント。

- ☞湯印 3個 オリジナルゆき湯手ぬぐい（1,000名様）
- ☞湯印 10個 西山温泉滝の湯手作り石けん（500名様）
- ☞湯印 21個 オリジナルゆき湯風呂桶（100名様）

奥会津とく！得！！体験 スタンプカATALOG

各種体験、宿泊、食事などによりポイントを集め、奥会津の逸品を抽選でプレゼント。

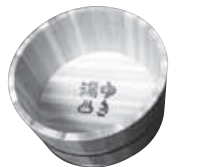
- 10% オ会津の逸品 1,000円相当（54名様）
- 20% オ会津産品詰め合わせ 3,000円相当（22名様）
- 30% オ会津ペア宿泊券（4名様）

奥会津列伝 ※「奥会津とく！得！！体験」と一冊になっています。

なぞ解くと伝説の戦士のクリアカードがもらえる。さらにクリアした地域の数に応じ、抽選で各種賞品をプレゼント。スタンプ欄が縦・横・斜めビンゴなら当選確率アップ。

- 1地域以上クリア オ会津の逸品 1,000円相当（9品を各2名様）
- 3地域以上クリア オ会津産品詰め合わせ 3,000円相当（9名様）
- 5地域以上クリア ニンテンドー 3DS（3名様）
- 7地域以上クリア ニンテンドー Wii（2名様）
- 9地域すべてクリア オ会津ペア宿泊券（4名様）、最強の戦士カード

【問合せ】奥会津振興センター ☎ 0241（48）5525 または最寄りの参加店へ



オリジナルゆき湯風呂桶



当町では「観光交流館からんころん」で、温泉アイテムやクリアカードのプレゼント、抽選賞品の応募を受け付けています。参加店はのぼりとポスターが目印です。

☎ 0241（48）5000

一歩一歩
地区
づくり
File3

西方地区



西方地区が発行した記録誌「西方の記憶一つなぐ」。地区の姿、暮らしと信仰、食と遊びなどについて詳しく掲載している



宿場だった西方の集落図

忘れかけていた歴史や民俗
後世へ伝える貴重な一冊

「西方の記憶一つなぐ」を発行

西方地区は、地区の記録誌「西方の記憶一つなぐ」を発行しました。地区の歴史のほか、宿場だった家並みを図示した集落図や、屋号・荷バン・家紋の一覧、清水・遺跡・石祠・供養塔・石仏などの位置図を掲載。また信仰や年中行事、言い伝え、行事食などについても収録し、西方地区の歴史と民俗が幅広く分かる内容となっています。後半には明治期後半から昭和40年ごろまでの貴重な写真も掲載。さらに地区の5人の方にインタビューした聞き書き「西方に生きて」も収められています。同地区では平成20年度から23年度までの4年間、福島県地域づくり総合支援事業（サポート事業）の補助採択を受け、独自の地区づくりを進めてきました。初年度に策定した集落再生計画に基づいて事業を展開。その一環として平成22年度から記録誌の基礎調査に入り、地区の全世帯へのアンケートや、お年寄りからの聞き取り調査など地道な作業を行ってきました。編集委員の山垣光英さんは「昔を

知っているお年寄りが少なくなり、今記録しなければ多くの事柄が忘れ去られてしまいます。文字にして残すことがとても大切です」と話しました。また小松順太郎区長は「調査や原稿作成には苦労しましたが、地区の皆さんの協力もあり、新たな発見も得ることができました」と話しました。このほか西方地区では、大林ふるさとの山カタクリ観賞遊歩道と鬼子母神参道の整備、「虫送り」行事用具の購入、ふれあいサロンの遊具購入、郷土料理の継承事業などを着々と実施してきました。小松区長は「事業を計画どおり完了でき、当初テーマとして掲げた『地域の資源・宝を守り育て、地区の魅力を高め、次の世代に引き継ぐ』ための基盤ができました。今後は一人でも多くの方々がかわりを持ち、楽しみ・生きがいとなるよう活動していくことが目標です」と話しました。「西方の記憶一つなぐ」は、町民センターの図書コーナーゆめぽけっとに所蔵し、貸し出しています。



宮下温泉
桐の里倶楽部

豪雨災害から復旧 町直営で入湯のみ再開

町民の皆さまには大変お待たせいたしましたことをお詫び申し上げます。



改修工事が完了した桐の里倶楽部。昨年夏の只見川氾濫によって浸水し、大きく損壊した浴室や脱衣所のほか、老朽化していた施設全体を改修した。脱衣所隣りの休憩室には桐フローリングを使用している。また厨房機器も一新し、運営体制が整えば食堂営業も再開できる

昨年7月の豪雨災害で大きく損壊した桐の里倶楽部は、改修工事が完了し、7月5日に入湯のみ再開しました。10日④までは施設内覧も兼ね、町民に限り無料開放しています。毎週水曜日は定休日とし、12日⑥から通常営業（有料）を開始します。営業時間は午後2時から午後8時まで（最終入館は午後7時30分まで）とし、当面の間、町直営により入湯のみの営業となります。なお食堂営業などについては、再開に向けて運営体制を検討しています。利用時間は2時間までとなります。また以前の回数券は今年12月末までご利用いただけますが、割引券については利用できませんのでご了承ください。

——— 通常営業（7月12日⑥から） ———

- 営業時間 午後2時～午後8時
（最終入館は午後7時30分まで）
- 定休日 毎週水曜日
- 入湯料金

	大人	子ども（小学生以下）
町民	250円	150円
町民外	420円	210円

◆ お問い合わせ ◆

三島町役場 地域政策課

☎ 0241 (48) 5533



編集後記

▼5月号から巻頭で連載している「美しい町、美しい風景」は3回目となりました。JR只見線・第一只見川橋梁、大林ふるさとの山、志津倉山と、町を代表するスポットを紹介してきましたが、もっと何げないところにある風景や営みの美しさも探してみたいと思います▼巻末の「一歩、地区づくり」も3回目。宮下・荒屋敷の屋号看板、大石田のそば・じゃがいもオーナー制、西方の歴史・民俗の記録誌。地道な活動がかたちとなっていきます。そのほかの地区でも新たな取り組みが始まっています▼町民記者による取材が始まりました。本誌には6件の寄稿記事を掲載。一気に話題の幅広さが増しました。町民記者の腕章マークが目印です▼「みしまテレビ」は月2回の更新で放送中です。過去の映像ライブラリーでは懐かしい顔もどうぞご覧ください。